

食品対中輸出 CCICトレーサビリティシステム について

2018年6月28日 一般財団法人 日本食品検査
岡本 繁 臣



© Japan Food Inspection Corporation

中国貿易のトラブル

1. 輸出商品が試験不合格で、シッパックまたは廃棄処分
2. 輸入商品がオーダーと違う、数量ショート、不良品
3. 商品が本物かどうかわからない
4. 通関期間やコストの不安定性による製品販売と資金サイクルの乱れ
5. 中国語ラベルがCIQの要求に合うかわからない
6. 政府のトレーサビリティ要求への対応
(食品安全法：輸入食品はトレーサビリティ必須)



© Japan Food Inspection Corporation

CCICトレーサビリティとは

クラウド技術に基づく CCICグローバル商品プラットフォーム

- ① CCICグローバル商品の生産加工、検査試験などのプロセスデータの収集・処理・トレーサビリティを実現。
- ② グローバル企業の内部品質管理、内/外部トレーサビリティ管理を実現。
- ③ 消費者端末からの照会と分析を実現。
- ④ 政府の監視管理部署、生産者、貿易会社、エンドユーザーのために監督管理のレベルと商品品質を高めることで、公平な取引に科学的根拠によるサポートと保障を提供。




© Japan Food Inspection Corporation

CCICトレーサビリティの情報公開

消費者による スマホから照会が可能




© Japan Food Inspection Corporation

外検内放の活用

『外検内放』について

商品の輸出前にCCIC海外プラントが中国の関連法規や規定に基づき検査を行うことで、中国語ラベル審査・現場検査・サンプリング・ラボ試験・積み込み立ち会い・ラベル貼付チェックなど検査を実施する。

検査の情報は、CCICトレーサビリティクラウドを通じてUPされ中国の検査検査部門へと送られる。貨物の中国到着時には、そのデータ情報が採用され、港での検査が簡素化し、書類審査のみでリリースされる。



© Japan Food Inspection Corporation

全工程トレーサビリティの情報公開

『全工程トレーサビリティ』とは

実地検証や商品検査、認証、工場検査等を通じて商品の生産地、品質、特定の属性などを検証する第三者合格評定活動で、これに偽造防止、QRコード等の技術を利用し、検証情報と商品を紐付けし、検証情報の照会やトレースを実現し情報公開するサービスです。



© Japan Food Inspection Corporation

システム活用でトラブル解決

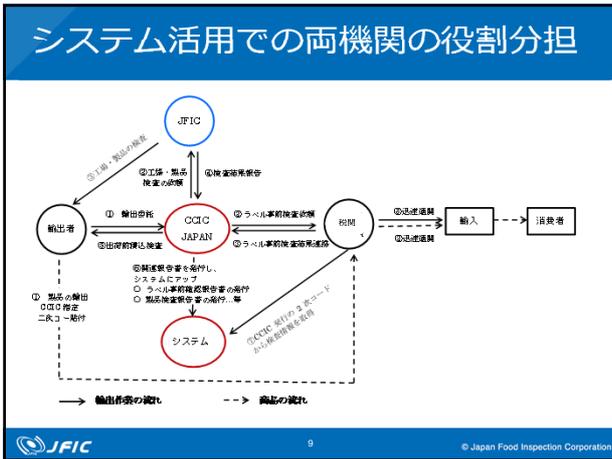
- ① 輸入商品が試験不合格で、シッパックまたは廃棄処分
輸出前段階でチェック、商品品質を事前に検査・試験
- ② 輸入商品がオーダーと違う、数量ショート、不良品
実地検証、バンニング検査
- ③ 商品が本物かどうかわからない
実地検証で真偽判断 偽造防止ラベルの貼付
- ④ 通関期間やコストの不安定性による製品販売と資金サイクルの乱れ
外検内放 海外での検査結果を採用しスピードリリース


7


システム活用でトラブル解決

- ⑤ 中国語ラベルがCIQの要求に合うかわからない
ラベル審査サービス
- ⑥ 政府のトレーサビリティ要求への対応
(食品安全法:輸入食品はトレーサビリティ必須)
全工程トレーサビリティ クラウド 情報の透明化 信頼の見える化
- ⑦ システムの信頼性、安全性、時短性
中国国有企業 CCICブランド 高品質 信頼性


8

システム活用で概算費用

No.	項目	頻度	費用
1	トレーサビリティラベル費用	—	5円~/枚
2	情報提供サービス費用	種類毎/出荷毎	1万円
3	現場検証費用	初回/年1回	10万円~/人 (宿泊費、交通費別途)
4	製品検査費用	要相談	
5	通関サポート費用	要相談	

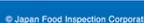

10


CCICジャパンと業務提携

2018年1月1日付で一般財団法人 日本食品検査とCCIC・JAPAN株式会社は、中国への輸出入事業において業務提携合意書を取り交わしました。



中国への輸出入における製品検査や中国HACCPの取得などで協力して事業展開をしてまいります。


11


ご清聴 ありがとう ございました。

これまでも これからも あなたと共に
Together, always as ever



一般財団法人 日本食品検査
Japan Food Inspection Corporation


12
